

公益社団法人 日本経営工学会
第 32 期第 9 回理事会議事録

日 時：平成 26 年 11 月 7 日（金），18:00～19:30

場 所：RCC 文化センター 612 号室

出席者：（理事）河野宏和，高橋勝彦，二ノ宮滋，篠田心治，松林伸生，西口宏美，伊呂原隆，
後藤正幸，中出康一，有菌育生，石井和克，

（監事）開沼泰隆

欠席者：（理事）熊谷敏，皆川健多郎

（監事）水山元

議決事項

1. 第 32 期第 8 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より，（資料:9-1）に基づき第 32 期第 8 回理事会議事録（案）が提示され，全会一致で承認された。

2. 入会承認の件

会員担当理事に代わり庶務担当理事より，（資料:9-2-2）に基づき，正会員 5 名，学生会員 3 名の入会申請が報告され，全会一致で承認された。あわせて，（資料:9-2-1）に基づき，平成 26 年度会員異動報告がなされた。

3. 二重投稿の件ならびに和文執筆細則改定の件

編集担当理事より，（資料:9-3-1,9-3-2）に基づき，著作権の遵守および二重投稿に関し論文誌編集委員会にて検討されたルールならびに和文執筆細則の改定案が提示された。協議の結果，このルールを以て厳格に取り締まるということではなく，今後の論文誌編集委員会内でのガイドラインとして使用していくという考えが示され，文言の微修正を行うことを付議し，和文執筆細則改定について全会一致で承認された。また，今後英訳を行うことが確認された。

4. その他

なし

協議事項

1. その他

なし

報告事項

1. 会員担当理事に代わり庶務担当理事より，（資料:9-2）に基づき，退会について報告がなされた。

2. 高橋副会長より，（資料:9-4）に基づき，JIMA 国際化タスクの施策について報告がなされた。

（1）企業事例セッションについては，研究プロジェクトの発表と論文誌掲載とのコラボレーションや，アクティビティの高い研究プロジェクトに対する予算上のメリット等が検討された。プロジェクトの予算措置については研究委員会にて更に検討することとした。（2）英語セッションについては，発表から論文誌掲載への流れを考慮し予稿 2 ページの制限を外す，例外的に超過頁代を免除する等，英語セッションを行うメリットを設けることが検討され，大会委員会にて具体的に検討することとした。

3. 二ノ宮副会長より，（資料:9-5）に基づき，2014 年日本 IE 協会・年次大会への参加について報告がなされた。

4. 財務担当理事より，（資料:9-6）に基づき，第 2 四半期決算報告について報告がなされた。また，前回理事会にて指摘があったインターネットバンキングのパスワードが盗まれた場合の補償について銀行に問合せたところ，現在は個人しか補償がないが，今後は法人にも拡大していく方針であることが確認された旨が報告された。

5. 渉外担当理事より，（資料:9-7）に基づき，協賛行事他委員会報告事項について報告がなされた。

6. 大会担当理事より，（資料:9-8）に基づき，2014 年春季大会収支決算案について報告がなされた。

7. 編集担当理事より，（資料:9-9）に基づき，掲載料・別刷代請求一覧について報告がなされた。

8. その他

- 二ノ宮副会長より、(別紙:9-10)に基づき、秋季大会・ラウンドテーブルの実施要領について報告がなされた。
- 会長より、研究部門制度の現状の課題と今後の進め方について、議題をとりまとめた上で懇談事項として今後の理事会に付議することが提案された。
- 会長より、印鑑登録カードおよび定期預金の銀行届出印を預っていることが報告された。また、銀行取引（窓口およびネットバンキング）の限度額については検討し実務に支障がない程度に今後変更することが確認された。

※次回第 32 期第 10 回理事会は、平成 27 年 1 月 10 日（土）15:00～18:00、慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 5 階大会議室にて開催する。

議 長 河野 宏和 印

議事録署名人 開沼 泰隆 印